

決算審査特別委員会審査報告書

私達、決算審査特別委員会は村民に負託され、議会議員に選出されたことを念頭に置き、公正、公平な審査を心掛けて予算執行の結果を確認、検証することで予算効果と行政効果を客観的に判断し、村長や会計管理者に対する事前統制と事前監視の役割を果たし、住民に対し実態を知らせ、理解と納得を得ることで財政民主化を徹底する意義を十分に理解した上で決算の審査に臨んだことを申し述べ、令和5年度決算審査特別委員会の審査結果について、ご報告いたします。

令和6年9月議会で村長から提出されました、議案第45号令和5年度丹波山村一般会計歳入歳出決算認定から、議案第55号の令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定までの11会計の決算審査を、議長から指名された4人の委員が、9月12日に役場大会議室において決算審査を、実施しました。

今回も昨年同様、委員が各課長への聞き取りを行う形で実施し、未納額、不用額、事業実施状況等、詳細な説明を受ける形で審査をした結果を各決算別に述べます。

一般会計歳入歳出について

歳入

- ・村税の収納について、時効を迎える過去の年度の税金から徴収を進めること。
- ・滞納額が増加しているので全職員での対応、納税者に口座引き落としのお願いをするとともに、県の滞納整理機構を活用することも検討してもらいたい。また、担当者はわからないことをそのままにせず、前担当者に確認をし、課長にも必ず協力してもらい、滞納整理を進めていくことを求める。
- ・担当者が人事異動で変わる場合にも、事務事業一覧表等を作成し、必ず引き継ぎを行うことを求める。
- ・住宅使用料の滞納については、しっかりとした返済計画を立て徴収を行うなど、職員の努力により滞納額が順調に減少している。引き続きの努力を求める。

歳出

総務費

- ・村が契約している土地・建物については、契約更新時に使用料や用途が適正であるか、見直しすることを求める。
- ・地方創生事業に関しては、各事業の内容や効果の説明を、村民にも分かりやすく理解してもらえる資料作成を求める。

商工費

- ・指定管理者から保守・メンテナンス等の報告書を提出してもらい、村でも状況を把握するよう努めていただきたい。

教育費

- ・教育大綱作成にあたり会議等で議論を行い、できるだけ多くの人の意見を取り入れていただきたい。

特別会計歳入歳出について

国民健康保険特別会計事業勘定

- ・滞納額が昨年度より増額しているので、100%の徴収を目指し努力するとともに、管理態勢の強化を図っていただきたい。

簡易水道事業特別会計

- ・水道料については、しっかりと台帳を整備し徴収に努力していただきたい。

水源の里保健休養施設事業特別会計

- ・村営つり場の経営については、指定管理等も視野に入れたうえで今後の管理・運営に取り組むよう求める。
- ・気候変動に対応できるよう、近隣の施設を研究し管理運営に取り組むよう求める。

教育奨励資金特別会計

- ・奨学金の償還に関して、職員の努力の結果、令和6年度中に滞納が解消される見込みであることを確認した。今後も滞納が発生しないよう努めることを望む。

特定環境保全公共下水道事業特別会計

- ・下水道使用料については、しっかりと台帳を整備し徴収に努力していただきたい。

令和5年度決算における基金運用状況審査結果

- ・最終基金の取り崩しは合計7,680万円であったため、歳入・歳出のバランスを確認しながら、予算執行にあたっては歳出の抑制を進めるとともに、補助事業等を取り入れることにより、基金の取り崩しが減少するよう努めていただきたい。

全体の指摘事項

・令和４年度の決算審査の指摘が生かされず、村民の信頼を失う重大な事件になってしまったことは大変残念である。再発防止のためのマニュアル等を再度確認し、研修等を行い職員全体の資質の向上に努めていただきたい。

以上指摘事項を付し１１会計すべての決算が適正に処理されている事を、全会一致で確認し決算を認定した事を丹波山村議会会議規則第７７条の規定により報告いたします。

令和６年９月１３日

丹波山村議会議長

嶋崎 義人 殿

丹波山村決算特別委員会委員長

守屋 旭